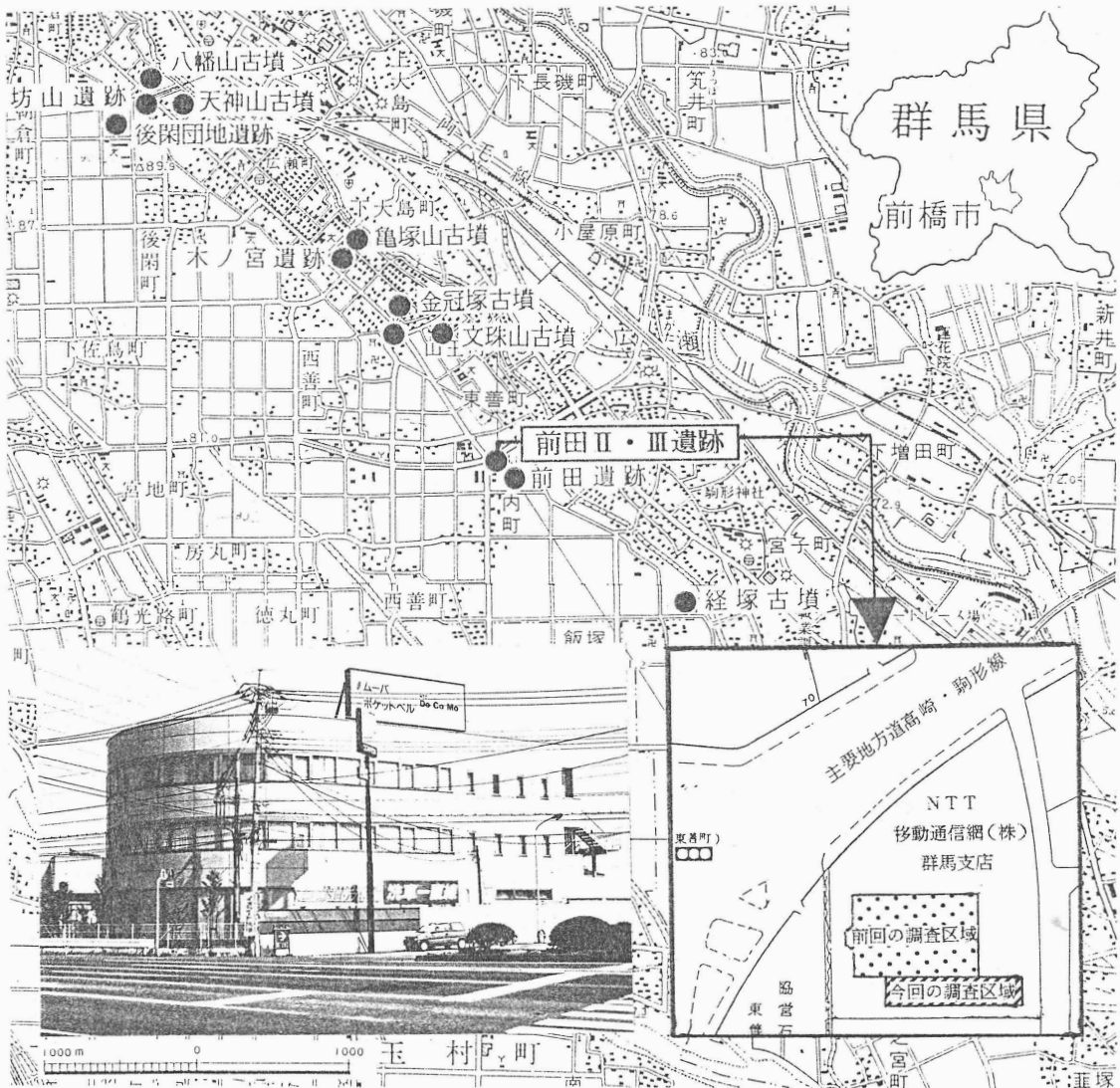


前田Ⅲ遺跡発掘調査報告書

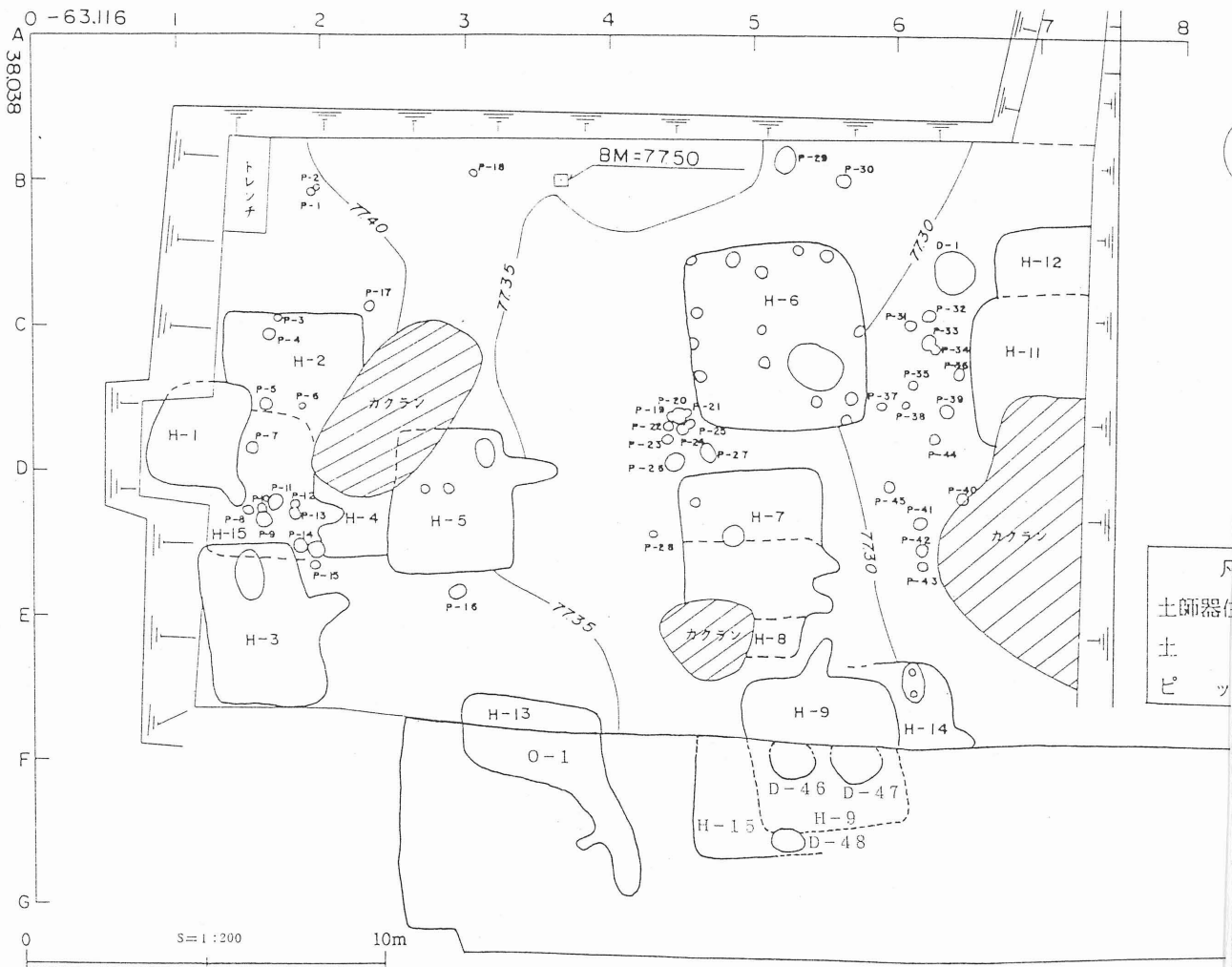
はじめに

本書はNTT移動通信網(株)群馬支店の社屋増築工事に伴う前田Ⅲ遺跡の埋蔵文化財発掘調査概要報告書であり、平成3年に発行した埋蔵文化財発掘調査報告書「前田Ⅱ遺跡」に追加するものである。

本発掘調査は前橋市教育委員会が実施したが、終始、NTT移動通信網(株)群馬支店様並びに増築工事施工者である(株)佐田建設様の協力をいただいた。ここに深く感謝の意を表する次第である。



発掘調査位置と周辺の遺跡



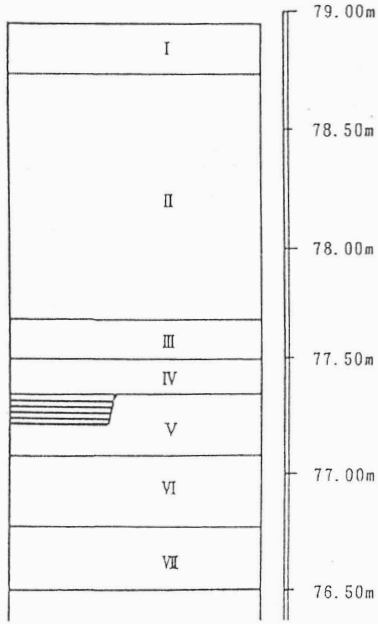
発掘調査全体図 (1 / 200)

発掘調査

平成7年2月23日と24日の両日で表土掘削を完了し、プラン確認の結果H-9の南側でその続きとH-15を検出した。前回の調査で住居址と判断されたH-13は、その続きから溝状の落ち込みと断定された。その他3基検出された土坑のうち1基はH-15の貯蔵穴と考えられる。

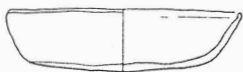
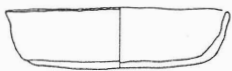
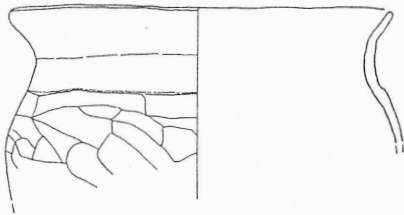
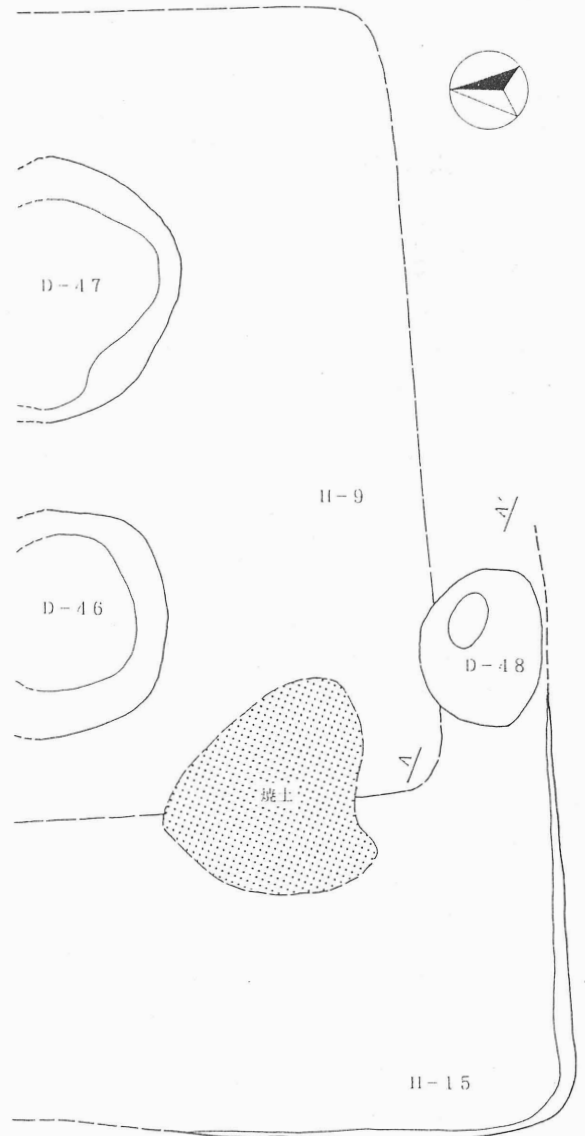
住居址の残存状況は2軒ともきわめて悪く、僅かに床面が確認できる程度であった。H-9の南側はD-46・47の土坑により攪乱を受けていたが、床と思われる土の広がりやH-9の平面形との一致を見たのでその一部と断定した。全域で土器片が出土したものの、接合できるものはなかった。H-15はH-9や後の耕作等でほとんど削平されているが、南西角を中心に最大で1.5cmの壁高が見られる。本住居址の貯蔵穴と思われるD-48からは口径20cmの甕の口縁部と2個の坏が出土した。時期は2軒とも9世紀のものと思われる。

標準堆積土層

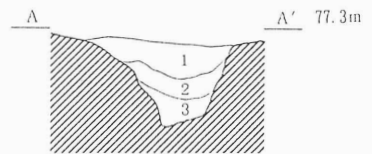


例	
居址	H
坑	D
ト	P

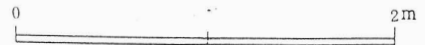
- I 砕石
- II 盛土 (石、礫混入)
- III 灰褐色土層 (旧水田面 耕作土) 粘性・締まりあり
細砂とF・P (5~8mm) を所々含む
- IV 灰黄褐色土層 粘性・締まりあり
細砂を含む (黄色味を帯びる)
- V 黄褐色土層 粘性・締まりややあり
ローム粒と細砂を含む (砂質ローム)
- VI 灰褐色土層 粘性・締まりややあり
細砂を多く含む小礫を含む
- VII 灰褐色土層 小礫を多く含む細砂を含む



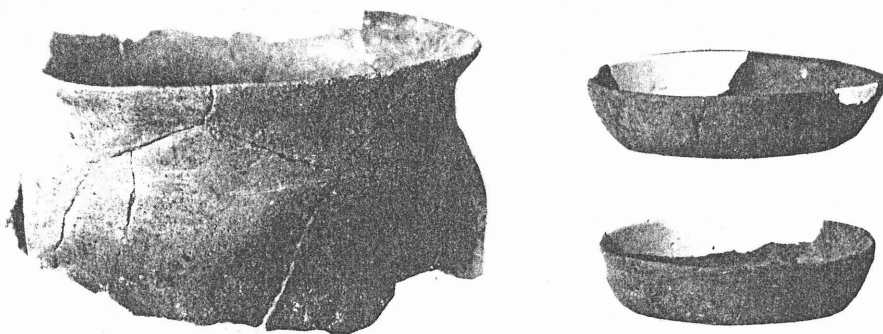
D-48 出土土器 (1/4)



- 1 黒褐色微砂層
炭化物・黄白色軽石を含む
- 2 黒褐色微砂層
炭化物を含む
- 3 黄褐色細砂層
川砂層



遺構平面図 (1/40)



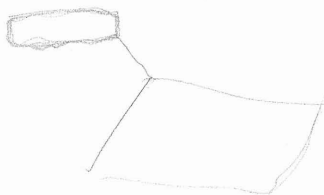
D-48 出土土器

抄 録

フリガナ	マダ物イキ
書名	前田Ⅲ遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	園部守央 伊藤 良
編集機関	前橋市教育委員会
編集機関所在地	〒371 群馬県前橋市上泉町664-4
発行年月日	西暦1995年10月1日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
マダ物イキ	マダ物イキ					19950223		
前田Ⅲ遺跡	前橋市東善町	10201	6G7	26°20'26"	139°7'48"	19950228	174㎡	店舗建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
前田Ⅲ遺跡	集落	平安時代	住居址 2軒	土師器(甕・坏)	なし



編集・発行 前橋市教育委員会
前橋市上泉町664-4